

愛寿会 たより

7月号
第109号
平成20年
7月1日発行



【グループホーム 「やすらぎ」

仁生園 光庭にて】

父の思い出

私の父は、三十代で肺結核、五十代で胃炎、八十代で肺結核を再び煩うなど頑強な身体ではなかったが、明治、大正、昭和、平成と四つの時代を生き抜き九十三才で天寿を全うした。食べ物については好き嫌いがなく、若い私達が食べるものは何でも食べた。酒をこよなく愛し毎晩二級酒二合の晩酌を欠かさなかったが、八十三才の時、肺結核で入院したのを機に酒を飲むことを止めた。庭の草取りや、野良仕事も八十七才になるとしなくなった。

冬のある日、私の友人が我が家を訪ねると、九十才になった父がテレビをつけたままにしてコタツに座り、げす板のうえに頭をのせて寝ていたそうである。築一〇〇年を越える家は、建て付けが悪くなっていて、隙間風が吹く寒い部屋にいる父を見た友人は、あんな寒い部屋にストーブもつけずにいる父が可愛そうだと私に言った。私は部屋と外の温度がそんなに変わらないことが、風もひかざ九十才までも生きられる秘訣だよと笑って答えたものである。

社会福祉法人 愛寿会

理事・評議員 島口 邦昭

九十二才になった頃から、週に二回位はおもらしをしてしまうようになった。私の姉は妻の苦勞をも考えてのこととは思うが、おむつを買ってきてもくれたが、父の気持ちを考えるとおむつをして寝るようにはなかなか言い出せなかった。

九十三才のある朝元気に食事をした父は、私が勤めから帰ると血を吐いて苦しんでいた。医者にいくことを勧めるも、これが俺の寿命だと言った。かたくなに病院に行くことを拒んだが、どうにか説得して葦崎市立病院に入院をした。肺癌で胃にも転移しているとのことであった。

医者は手術をすることを勧めたが、父はもう年だし手術はしなくてもよいと言いつつ。それは母が八十五才の時くも膜下出血の手術後、三年八ヶ月間も意識が戻らずに亡くなっていたからである。姉と二人の弟とも相談する中で、父の強い意志を尊重して手術をしないことにした。父は入院した翌日には娘、息子、家族全員に見守られて息を引き取った。

私は父と母をみとった経験から、意識がないときのことも考えて、八十才を越えては大手術はしないこと、延命措置は取らないことと遺言を書いておこうと考えている。愛寿会にかかわることになって、介護の仕事のむずかしさを知ると共に、如何に晩年を迎えるべきか等々さまざま考えさせられる昨今である。

料金後納
郵便便

冊子小包

差出人(差出發送代行)

7-4 佐川物流サーブス(株)

返送先: 〒140-0012

品川区勝島1-1-1

このお荷物はご依頼人様からお預かりした荷物を当社が差出人となって発送代行しています。

〈 特別養護老人ホーム・
ショートステイセンター 〉

梅雨の晴れ間に甲斐駒をながめると、一年中で一番良い季節の訪れを感じます。

この雄大な景色の中に包まれ、仁生園には、入所者とショートステイ利用者で約百五十名が生活されています。

一号館四階は、障害を持っていても自分なりの楽しみを持つていただけることに重点を置き、三階は最多の利用者の皆様と職員が居る利点を發揮し、それぞれの特技や趣味を生かしたクラブ活動やレクを用意しています。二階は医務室に近く、重度者の対応を行なっています。が少しでも長く離床して楽しく過ごしていただけるための働きかけに工夫を凝らし、三班はいかに安全に開放的にするかという点に取り組んでいます。

それぞれのフロアが特色を生かし、利用者の皆様の生活をより豊かにしようと頑張っています。皆様も面会の折に、雄大な景色と利用者の皆様の生活の様子を是非ご覧下さい。

〈 デイサービスセンター 〉

仁生園デイサービスセンターの特長は、何といってもフロアの広さです。利用者一人当たりの占有面積は定員時で八坪あり、運動レ

クリエーションの時などもおもいつきり身体を動かすことが出来ます。

また、トイレやお風呂へ行くときも自然と歩行数が伸び、歩行数の多い方では一日千歩に達する事もあります。デイサービスを利用してされているみな様が、どんどん元気になっていく姿は実感として何時も感じております。他にも嚙下体操・リハビリ体操・頭の体操・音楽による機能改善等により残存機能の維持に努めております。

仁生園デイサービスセンター利用者の方々が元気に自宅で生活できるように、スタッフ一同応援させていただきたいと常に思っております。

〈 介護相談センター 〉

平成十二年介護保険スタート時より居宅介護支援事業所として北杜市を中心に県内外のみな様にご利用いただいております。

現在ケアマネジャー一名あたり三十五名以下という限られた枠の中ですが介護計画書を作成し、利用者の方々のニーズにこたえられるよう日々努力しております。

介護保険に関する相談からご本人、ご家族の悩み事の相談までお気軽にお立ち寄りいただければゆつくりお話を聞かせてもらい、できる限りご援助させていただきます。

〈 グループホーム 「やすらぎ」 〉

日勤の職員が出勤しますと、朝食の片付けの食器洗いをして下さる入居者の元気な声が聞こえ、朝のあいさつから始まります。体操を行い、お茶を飲みながら朝の会として、職員がその日の新聞を読み、入居者の方々は昔の話がされたり、感動しあつたりと、会話がはずんでいます。

絵が得意な方、お花を生けて下さる方、貼り絵、細かい手作業が得意の方々等、それぞれ得意分野を活かしながらレクリエーションを楽しまれています。

みな様が自分の役割を持って、生き生きと毎日の生活が送れます様、入居者の方々にとって、主人公になれる居心地の良いグループホームを、目指しております。



【 朝の会の様子 】

生活支援ハウス こあらま

① 併設施設のメリットを活かし

こあらまでは、ケア・看護スタッフによる二十四時間体制での対応、介護支援専門員・相談員による生活相談や管理栄養士によるバランスの取れた食事の相談・提供、他にも総合福祉施設のメリットを活かした他職種協働のサービスの提供など、一人ひとりに合わせたゆとりある生活を営んでもらえるよう努めております。

② 健康面について

スタッフが毎日、朝と夕方に巡回をさせて頂くとともに、安心して過ごして頂けるよう身体の不調や心配事等について、いつでも声を掛けて頂ける体制を整え、入居者の方々に安心して生活して頂いております。

③ 余暇活動について

外出や外泊、ご家族やご友人の面会や宿泊など自由にして頂きました。又、こあらま独自の行事・レク活動、仁生園の行事・レク活動についても積極的に参加して頂いております。

第二仁生園

六月八日、第二仁生園の中庭にて初めてのバーベキュー大会が行われました。

晴れやかな空の下、炭を使って焼きあがったフランクフルト・焼きそば・焼き鳥などは格別の味で、利用者の方々もいつもとは違った表情が見られ、とても楽しい催しとなりました。

今後は、流しソーメンなども企画して、利用者みな様と有意義な時間を過ごしていきたいと思っております。



【 焼き上がりが楽しみです 】

仁生園 夏祭り

毎年恒例となります「仁生園 夏祭り」を開催いたします。
たくさんの催しや食べ物、飲み物をご用意いたします。
みな様お誘い合わせの上、ご参加ください。



白州の虎舞が
くるよ!!



日時 : 平成 20 年 8 月 1 日 午後 6:30 ~
雨天決行

屋台 : たこ焼き・ヨーヨー・スイカ・チョコバナナ・豚汁・餡蜜・万がね
焼きそば・綿菓子・やきとり・お酒、ジュース各種

※ 持ち込み・持ち出しはできません。 ※ お車でお越しの際、飲酒はさせません。

♪ アコーデオン 演奏 ♪

六月十七日(火)、大泉町谷戸にお住まいの九里(くのり)様が、アコーデオンのボランティアとして来園されました。

参加された方々が自然に口ずさめる、青い山脈・北国の春・男はつらいよ等、昭和の名曲を演奏していただき、笑顔があふれ楽しい時間を過ごすことができました。
ありがとうございました。



【 演奏にあわせて歌うことができました 】

家族のみな様へお願い

ご登録いただいた緊急連絡先または介護・医療保険証等に変更・更新がある場合には、ご利用のサービス担当者までご連絡のうえ提出ください。

♪ 舞踊ボランティア ♪

六月八日(日)、すえひろ舞踊会十名のみな様が、来園されました。

白虎隊・浪花節だよ人生は等の演奏と、草津節で肩こり予防体操もしていただきました。舞踊を見ながら一緒に手を動かす方、一緒に唄う方等多く見られ、次回の来園を待つ声も聞かれました。



【 お話も楽しかったです 】

― 後援会入会の方々 ―

(五月〜六月)

- 平井 静子様
 - 大串 一弥様
 - 原 弘光様
 - 岡安 一様
 - 内田 由紀子様
 - 坂本 美登志様
 - 坂本 七百重様
 - 平井工務店様
- 後援会にご加入いただきましたみな様に厚く御礼申し上げます。

ご芳情 (六月一日〜六月三十日)

- ・レクボランティアほがらかグループ様
- ・レクボランティアゆずつこの会様
- ・北杜市 山鳩の会様
- ・北杜市 保坂 多枝子様
- ・北杜市 小野寺 毅様
- ・北杜市 平野 里子様
- ・北杜市 佐藤 茂様
- ・北杜市 小宮山 光彦様
- ・北杜市 日向 美代子様
- ・葦崎市 栗原 信様

利用者状況 (六月末現在)

特別養護老人ホーム	一三二名
ショートステイセンター	十二・二名
デイサービスセンター	四十七名
グループホームやすらぎ	九名
生活支援ハウスこあらま	九名
第二仁生園	三十名

愛寿会のサービスに何かご意見、ご要望などがございましたらこちらまでお寄せ下さい。
電話 0551-32-3340